

## 令和5年度第2回狭山市公民館運営審議会会議録

開催日時	令和5年11月10日（金） 午後1時30分から午後2時46分
開催場所	狭山市立中央公民館第1ホール
出席者	田口委員長、野口副委員長、横江委員、前原委員、小熊委員、大井川委員、小林委員、高橋委員、吉野委員、折居委員、平野委員、河口委員
欠席者	工藤委員、早川委員、尾崎委員
教育委員会	内藤生涯学習部長、関根生涯学習部次長公民館統括教育総務課長兼務、石井社会教育課長
公民館	中野中央公民館長、高取富士見公民館長、田中入曾公民館長、池之谷水野公民館長、市之川堀兼公民館長、宮崎狭山台公民館長、北田新狭山公民館長、村上奥富公民館長、田中柏原公民館長、須藤広瀬公民館長、三浦水富公民館長、吉田中央公民館副館長、平沼中央公民館主査
傍聴者	なし

### 1 開 会

### 2 委員長、生涯学習部長あいさつ

### 3 議 事

各公民館の令和5年度上半期の事業報告について

資料に基づき各公民館長から上半期の特筆すべき事業について説明。

委員 事業一覧の中に総合評価欄があり、数字が入っている事業と入っていない事業があるが、どのような指標で評価しているのか。また、書いていない理由は。

事務局 総合評価は講座等の終了後、参加者にアンケートを実施しており、その中で5段階評価をつけていただいた平均を記載している。

イベント等で、アンケートの実施が難しいものもあり、その場合には、評価点は載せていないものである。

委員 奥富公民館の防災に関する事業で、西武文理大学が協力となっているが、学生はどのような関わりがあったのか。

ほかの公民館でも西武文理大学と協力して事業を実施しているが、大学も地域にどんどん貢献しよう、入って行こうという機運があるので、どんどん関わってくれたらうれしい。

事務局 西武文理大学については、市内の4大学とともに狭山市と包括連携協定を結んでおり、それぞれいろいろな取り組みがあり、特に西武文理大学は公民館と協力していただけることが多く、防災については既に柏原地区で小学生を対象とした事業実施の実績がある。奥富公民館の事業で

は、子どもたちにクイズ形式で備蓄倉庫内の物品など、大学生の視点で説明をした。その中で、防災備蓄倉庫の中に炊き出しをする薪が入っており、薪について大学生が説明したら、参加した小学生が薪を知らなかったということがあった。

大学生も小学生が薪を知らないということに驚いていたし、来年はどうやって小学生に薪をわかるように説明するかということで、いい気づきがあったという感想もあったので、大学生の視点で子どもに教えながら、自分たちもどうやって子どもたちに向き合っていくかを考えるなど、いい経験になったと考えている。

委員 子どもと接することがあるが、私たちのような子どもから見たら親の年代から聞くよりも、年齢の近い高校生、大学生とのやり取りの方が刺激的だし、聞く耳を持つなと感じる。

学生にしても、まだ若いので感覚もつかめるので、公民館の事業を自分たちで全部やるというより、若い大学生などをたくさん呼び込んで事業を実施するといいなと思う。

委員 広瀬小学校レインボー学級のお店が新規事業となっているが、どんな経緯で学校とやり取りをしているのか。保護者の了解を得たと思うが、実施に至るまでの経緯及び進め方は。

事務局 広瀬小学校校長との話し合いの中で、いろいろなヒントを得る中から始まった事業。

広瀬公民館の周りは小中高校がまとまっているので、若い世代、学生にも利用していただけるような場を作ろうということから、学校に館長自ら訪問し、話を聞いた中で特別支援学級の発表の場がないため、広瀬公民館を利用したいという話があった。

事業はこれから実施するが、継続事業にしたいと考えている。

また、今後は講座に関して若い親や小さいお子さんを連れてこられる場合等、保育付き事業の実施を検討している。子育てをする保護者が息抜きできるような場を作る事業を展開していきたいと考えている。

各学校と連携しつつ、事業実施をしたいと考えている。

委員 レインボー学級の保護者の皆さんとのやり取りはどのように行ったのか。

事務局 まだ行っていない。

今後、展示物、部屋割り、実施期間を調整していく。また、アンケート等を実施する予定。保護者の意見・意向等を尊重していく。

委員 下半期の事業ではあるが、市民文化祭について、コロナが明けて初めての文化祭ということで、すべて回らせていただいた。

サークルの成果発表、参加者の交流、笑顔や対話、お互いのリスペク

ト、すごくいいと思った。

展示作品は、サークルが一生懸命作った、丹精込めた作品。文化祭を回って各公民館の文化祭はそれぞれの公民館の館長始め職員が一生懸命作ったトータルで文化祭の作品であるという印象を持った。

それぞれの館で独自性、個性があって、サークルと公民館職員の間にもいろいろな音色があって面白いと感じた。

公民館のスタッフの文化祭に対する思い、文化祭というよりも、サークル、利用者、地域に対する愛情だと思えますが、それに伴う思い入れもある。

まだ、コロナやインフルエンザも流行っているので、トイレを出た絶妙なところに消毒液が置いてあったりとか、狭いスペースを駆使して会場づくりをしている館でも、なんとか工夫して高齢の方や体が不自由な方が休憩できるようなスペースを設けていたり、感服した。

さらに、今日各館の上半期事業報告を聞いて、社会教育・生涯学習の機能を果たすのと併せて、地域力を高めるためには、公民館に来てもらってこそその施設なので、様々な工夫をされていたことに敬意を表す。

各館回らせていただいて、時間があるときは館長や職員にヒアリングを行った。コロナ前とコロナ後で登録団体が減ったという話があったが、深く聞くと解散したサークル、解散はしていないが文化祭の参加を取りやめたサークルもあれば、新たに登録されたサークルもあり、今までは文化祭に参加していなかったけれども、今年度から参加するサークルもあった。

数字が減っているのはこれからの課題であるが、活性化も図れていると思う。

狭山台公民館の例で、料理サークルが解散した。一方、料理講座を開催する予定がある。料理講座を実施することによって、解散されたサークルの方にも参加していただくことにより、新たな取り組みが広がるのではないかと狙いも含めて開催されるということ。

コロナを乗り越えて文化祭が盛況に開催されたのは、公民館のサークル活動、地域活動支援の努力の賜物で、公民館の機能が果たせていると感じた。

1点だけ、コメントする。

これはコロナ前の文化祭全体のパンフレット。こちらは今年度のパンフレット。何が違うかという点、見た目が寂しいなというのが一つ、今年度は12ページで、コロナ前は20ページある。一番の違いは発表の時間割がきちっと載っているのか、日付は載っているけど時間割がないという差。

これは、コストの問題なのか。昨年度の利用者アンケートを見ると、65歳以上の利用者が78%。各公民館のホームページを見たら時間割もきちっと載ってるし、各公民館を訪ねると、ちゃんとしたパンフレットがあって、各公民館の発表時間の詳細が載っている。

全体のパンフレットには載ってなくて、ホームページ見ないという利用者が全体で約46%いる。

文化祭は年1回なので、もうちょっと開催時間を含めて親切に情報を掲載するのが私はいいかなと感じた。

いろいろな理由があって、駅の時刻表も無くそうと検討している鉄道事業者もあるという時代なので、スマホの利用率が高まれば、パンフレットがいなくなる時代も来るかもしれないが、ここは、来年度に向けて検討していただきたい。

事務局 文化祭のパンフレットについては、社会教育課で各公民館の職員に集まってもらい、話し合いの結果今の形にたどり着いた。

経費削減ということもあったが、各公民館で細かい時間帯が入っているチラシを作っているということもあり、同じようなものが二つあってもどうなのかという意見があった。

検討の結果、全体のパンフレットでは、見やすく、どのようなサークルが何を発表するのかを示し、併せて掲載する2次元バーコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、各公民館の細かい内容がホームページで分かりますよということで、細かく見られるようにするのはどうかという案を採用し、今回、パンフレットには発表の時間は入れずに各公民館が1ページに収まるように作らせていただいた。

委員さんのおっしゃられたように、高齢者の方たちが多いのは重々承知している中、いろいろと試行錯誤してやらせていただいているので、今回の意見を持ち帰り、文化祭委員に伝え、来年度以降の作成にあたり検討をしていきたい。

委員 次回3月に第3回公民館運営審議会が開かれると思うので、「公民館の公共施設管理計画」について説明をしてほしいと考えている。2017年度に向こう40年間の計画が示され、2021年に改訂版が出されている。

この改訂版は国のガイドラインが変わったために改訂されたのか。内容的には変わっていないとお見受けした。

40年の長期計画があって、10年ごとの再編計画があって、10年の再編計画も中盤が過ぎて、これから7年目8年目に入っていくと思うので、今一度公民館の長寿命化や統廃合による集約など、最初に示された計画とは変わっているところがあるので、再度、現時点での公民館の管理計画について、ポイントだけで構わないのでご説明いただきたい。

事務局 狭山市公共施設等総合管理計画に基づき市施設の管理を行っている。  
令和3年11月改訂版が最新であるが、その中でも情報が古いものがあり、入曽地域交流センターも古い情報のまま載っているので、資料を精査し、わかりやすい形で次回の会議でお示しできればと思っている。

委員 公民館ではInstagramを活用する予定はるのか。  
顔が映るなどの問題があるので、全部ではないが、作品など、人が映らない部分もあるので。

事業で浴衣の着付けを実施したが、参加人数が少なかつたとの報告もあった。自分の子どもの年齢から考えると、親がこういうのがあるよと言っても、じゃあ行くという年ごろにはならない。何が影響かということInstagramでかわいいものを見たり、友達が行くと行ったから行く。そういう中学生高校生は親の情報ではなく、自分の見た情報、友達の情報で行く。その時に、若い子たちが一番見やすいネット環境での情報があると、浴衣の着付けなどは、大学生高校生は見に行くのではないか。

やったからすぐ集まるというわけにはいかないが、若い世代には影響があるのではないかと思う。

事務局 入曽公民館は公式Instagramがあり、センターだよりやイベントのポスターに2次元バーコードを載せており、詳しい内容はここから見てくださいという形で登録していただくよう誘導している。

事業の報告、写真も承諾を得た上で掲載し、新しいイベントの広報などもInstagramで行っている。

水富公民館でもInstagram、フェイスブックで周知等を行っている。今後も活用を図っていきたい。

委員 インスタライブも有効。毎月マーケットを実施しており、そこでインスタライブを行っているが、すごい反響がある。

私が出演しているが、私に会いに来る人が大勢いる。こんなにも影響があるのだと思ったので、是非、各公民館でもご検討いただければと思う。

#### 4 その他

- (1) 次回狭山市公民館運営審議会の開催時期について
- (2) 博物館企画展について

#### 5 閉会